

学校評議員からの評価と今後の対応について

<ご意見>

全体的に学校としての統一感に欠ける。意識もそうですが、アンケート結果も含めて同一校として統一感がない。商業校舎だとか工業校舎だからとか、生徒間交流も中途半端に見える。第一に考えなければならないのは、生徒たちが希望を持てる学校生活を送ることを大事にしてほしい。

→本県初の校舎制の学校として統合し、2年が経過しましたが、統合と同時に発生したコロナ禍により、応援歌練習や壮行式、生徒総会、体育祭などの合同行事が中止あるいは延期、縮小となっています。このような状況下で、両校舎「一体感」の醸成に苦労している現状ではありますが、コロナ禍の収束を願いながら、両校舎の教職員、生徒が一体となって工夫を凝らし、新たな学校作りに取り組んでいきたいと思えます。

<ご意見>

学区は宮古全域ではありますが、校舎がある地域での小中学校との連携による活動を継続するとともに、一層深めていって下さることに期待しております。高等学校と同様に宮古市立の学校でも学校運営協議会が始まります。相互の情報交流をしていただくと助かります。今後ともよろしく願います。

→次年度からは、学校運営協議会を設置して地域と一体となった学校運営を行うコミュニティースクールとしての取組を行います。今後も、地域の小中学校や地域の皆様と共に、両校舎が連携しながら「地域と共に歩む専門高校」として努力して参ります。

<ご意見>

資料を送付頂き有難うございます。その中でアンケートの記述は貴重な声と思われます。中には職員の方々のご指導がうまく伝わっていない事も有るように感じますが、内容的にもう少し踏み込んでのご指導、ご対応を生徒さん（親御さん）が期待しているように感じるコメントも有りますので、そのような観点で次年度への取り組みに生かして頂ければ幸いです。

→学校のさまざまな情報をホームページや学校メールで随時提供するとともに、PTA総会、学年PTAや3者面談を通じて保護者とのコミュニケーションを深め、いつでも相談できるような体制を作り、生徒、保護者、地域の期待に最大限応えることができるような体制作りに取り組めます。

<ご意見>

自由な意見と快活な行動と他者を認め合い高めあえる生徒が増えるような校風をつくってほしい。

→生徒が主体となる部活動やボランティア活動を活発化させ、その活動を通じて、互いに競い合い、認め合い、共に成長していける学校作りに努めて参ります。

<ご意見>

2つの校舎での学校経営ということで苦労することが多いと思えます。校長先生の経営方針の下、両校舎の職員の皆様が目指すべき方向を共有し、地域を未来を担う人材を育成していただくことを期待します。

→2つの校舎で学ぶ生徒がお互いを励まし合い、鍛え合い、心から喜び合えるような環境をつくるのが大切であると考えています。学習活動や部活動を通して成果を上げ、保護者や地域の皆様方、また、宮古商業高校、宮古工業高校の同窓生の方々に喜んでいただけるような学校を作り上げ、地域に誇れる専門高校としての歴史を築いていきたいと思えます。